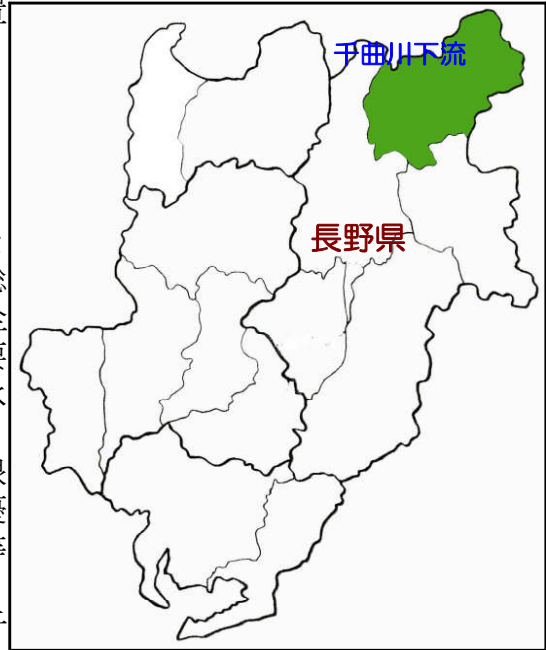


千曲川下流森林計画区の計画概要

1 計画区の概要

- (1) 千曲川下流計画区は、長野県北東部に位置し県庁所在地である長野市を含む5市5町5村からなり、通称「北信」と呼ばれる区域です。区域面積257千ha（長野県全体の19%）に所在する森林面積180千haのうち、国有林野は48,812haです。
- (2) 当計画区の国有林野は、新潟及び群馬県との県境稜線部を挟む地域に多くが存在し、総面積の90%が保安林に指定され、国土保全及び水源かん養等の公益的機能の發揮に重要な役割を担っています。特に地域の重要な水源地帯となっています。
- また、高妻山、鍋倉山、苗場山、草津白根山、保基谷岳等の名山に囲まれた地域で、優れた自然景観を有し、上信越高原国立公園等に指定されています。
- (3) 森林構成は、人工林9千ha、天然林34千ha、その他（附帯地等）が6千haとなっています。人工林の樹種割合はカラマツ63%、スギ34%、その他3%です。



2 事業量

計画期間における伐採、更新、林道、治山の事業量は以下のとおり。

①伐採総量 (単位：m³)

	本計画	前計画
主伐	6,074	6,913
間伐	188,458	76,981
臨時伐採	17,468	10,106
計	212,000	94,000

②更新総量 (単位：ha)

	本計画	前計画
人工造林	12	15
天然更新	14	110
計	26	125

③保育総量 (単位：ha)

	本計画	前計画
下刈	77	92
つる切	264	76
除伐	855	959

④林道の開設及び改良の総量

		本計画	前計画
開設	路線数	2	2
	総延長(m)	2,000	3,500
改良	箇所数	41	30
	延長量(m)	1,190	1,600

⑤治山事業

		本計画	前計画
保全施設	山腹工(箇所)	8	9
	溪間工(箇所)	13	14
	その他(ha)	—	1
改良	植栽工(箇所)	—	—
	その他(ha)	1,163	1,176

*本資料は地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画を主として引用しています。